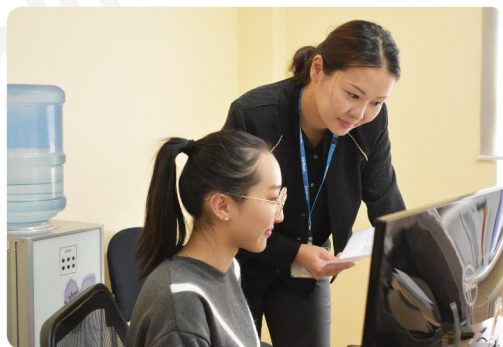


01 【インターン生が来ました】 インターン生:B. Ariunzul

モンゴル国立大学からSINRAIプロジェクトに3週間、インターン生が来て、プロジェクトの活動を体験しながらJICAの技術協力プロジェクトについて学びました。

(インターン生コメント) 9月25日から、JICAモンゴル事務所の「SINRAI」社会保険実施能力強化プロジェクトでインターンを始めました。三週間で、いろいろ勉強になりました。プロジェクトの作業を見たり、参加したりしていました。この間、3回ウィークリーミーティングに参加しました。研修マニュアル作成のための会議に2回参加しました。それに、ウランバートル市における障害者の参加促進 (DPUB) プロジェクトの事務所まで行って、活動内容なども説明して頂きました。10月8日から12日までの年金数理研修の準備をしたり、参加したりしていました。研修をどのように行うかも勉強になりました。

また、社会保険庁にプロジェクトの事務所がありますので、社会保険庁の仕組みも説明してもらいました。資料を読んだり、モンゴル



人のアシスタントによる通訳も見学したりしていました。実際に資料を翻訳してみて、専門用語も覚えて、語彙が増えてきました。日本語だけではなく、年金保険制度や、将来人口推計についての知識も増やしました。外国語を使って、翻訳や、通訳の仕事はどんな分野でも行われることが、今回実際に理解できました。

大学を卒業してから、就職する際に必要となる色々なことが勉強になりました。インターンの際は、毎日勉強になっていました。インターンでいい経験をたくさん積んだと思います。プロジェクトの皆様や、大変お世話になりました。皆様に感謝しております。

02 【お客様サービスについて思うこと・一人一人が代表者!】

SINRAIプロジェクトでは、社会保険庁、社会保険事務所を中心に、接遇研修を行ってまいりました。このコーナーでは、「サービス」について連載し、皆様と考えたいと思います。

当プロジェクトで接遇研修を担当してくださっている菅谷短期専門家の講義において、「一人一人が組織の代表である」という責任感を持つことが、お客様サービス向上において重要であると伝えられました。これは非常に重要な学びです。

組織の大多数の職員が、お客様のためにサービススキルを磨き、知識もつけて努力をしていたとしても、たった一人の職員がお客様に対して失礼な態度を取ったり、不十分なサービスを提供したりすることで、組織全体の印象が悪くなってしまいますということです。大勢の職員が努力しているにも関わらず、です。

例えば、あるレストランに入って食べた料理が冷めていたり、一人の店員の態度が良くなかったとしましょう。そうすると、皆さんはどう思いますか?不快に思ったのは、レストランのあのシェフ、あのウェイターが悪いのが原因だと考えるでしょうか。恐らく、あの「レストラン」



全体のサービス、品質が悪いと考えるのではないのでしょうか。

つまり、職員一人一人が組織全体の代表であること、組織全体の評価を一人一人の職員が担っていることを理解することが大切です。

SINRAIプロジェクト業務調整員 菊池 枝里香



03 【鈴木・国立社会保障・人口問題研究所副所長による年金数理研修が行われました】

10月8日～12日まで、鈴木副所長による年金数理研修がモンゴル日本人材開発センターで行われました。プロジェクト開始以降、モンゴルでの数理実施は5回目となります。同研修の目的は、モンゴルの公務員に、年金制度を科学的な方法かつ長期的な観点から立案する能力を身に付けてもらうことです。研修には、労働・社会保障省、社会保険庁、国家統計局、労働・社会保障研究所、保健開発センターから職員が

参加しました。

今回の研修では、将来人口推計のみならず、将来世帯推計の方法についても学びました。研修参加者は、与えられた課題に対して協力して、積極的に取り組んでいたのが印象的でした。一週間の研修、お疲れ様でした。



04 【ウィークリーミーティングを実施しています！】

社会保険庁や社会保険事務所の職員の皆様を対象に、毎週火曜日の午前、ウィークリーミーティングを行っています。9月に取り扱ったテーマについて、少しご紹介します。

伊藤チーフアドバイザーによって日本の年金行政を担う、厚生労働省年金局、日本年金機構、GPIF、国立社会保障・人口問題研究所などの機関の役割やお互いの関係性について、紹介がありました。その他、日本年金機構が毎年出しているアニュアルレポートについても説明がなされました。

中山専門家からは、中山専門家による「日本の厚生年金保険料の徴収事務」についての説明が行われました。厚生年金保険料とは何か？、その保険料納付にかかるルールや計算についてどうなっているかについて紹介をしました。その後、どのような流れで事業主が厚生年金保険料を納付し、そしてその納付情報を年金事務所が登録しているかにつき、詳しく説明をしたほか、厚生年金保険料の滞納整理事務についても触れられました。



05 【日本での研修に向けて】

11月に行われる日本での研修に向けて、様々な準備が始まっています。

9月は、プロジェクトから参加者に対して、研修スケジュールの紹介を行いました。そして、年金数理グループ、業務改善グループ、研修開発グループにそれぞれ分かれた参加者に対して、日本での研修で特に何を学ぶべきか説明をし、意見交換を行いました。



SINRAIプロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所: Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル社会保険庁内6階602号室

◇電話(FAX)番号: (+976)-11-325125 公式Facebookアカウント: Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл

ニュースレターのバックナンバーはこちらから▶ <http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/newsletter/index.html>